

小学校第 6 学年

国語 A

注意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 調査問題には、国語と算数の問題があります。国語の問題は 1 ページから 12 ページまであります。算数の問題は反対側の表紙から始まり、1 ページから 10 ページまであります。
- 3 解答用紙には、国語の解答らんの面と算数の解答らんの面があります。解答は、全て解答用紙に書きましょう。
- 4 解答は、HB または B の黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、こく、はつきりと書きましょう。また、消すときは消しゴムできれいに消しましょう。
- 5 解答時間は、次のとおりです。
 - ・国語 A 20 分間
 - ・算数 A 20 分間
 - ※ それぞれの時間になったら、合図があります。
 - ※ 国語の問題を解き終わっても、算数の問題に進んではいけません。
 - ※ 解答が早く終わったら、よく見直しましょう。
- 6 机の上の「個人番号票【解答用紙記入用】」をよく見て、解答用紙に、学校名、組、出席番号、男女、個人番号をまちがいのないように書きましょう。

一 次の(1)から(3)までの文の——部の漢字の読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

(1) 乗り物の 券 | を買う。

(2) 子孫 | のためにゴミをへらす。

(3) めずらしい植物を 採集 | する。

二 次の(1)から(3)までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

(1) 魚を や | く。

(2) バスが ていし | した。

(3) 委員会を も | ける。

2

次の一と二のことわざの意味を、1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

一 「石の上にも三年」

- 1 何事もやってみないと、よさが分からないこと。
- 2 あることが得意な人でも、失敗することがあること。
- 3 住み慣れると、そこが一番暮らしやすくなること。
- 4 しんぼう強くやれば、よい結果が得られること。

二 「急がば回れ」

- 1 その人のためになる注意は、なかなか聞き入れられにくいこと。
- 2 ていねいに取り組んでも、いっこうに手ごたえがないこと。
- 3 時間がかかっても、安全で着実な方法を選ぶほうがよいこと。
- 4 何事も用心に用心を重ねて取り組むことはむずかしいこと。

3

次の【文章の一部】は、六年生の高島さんが五年生のときから続けている放送委員の仕事について書いたものです。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章の一部】

放送委員会の役員を決める話し合いをした。ぼくは、委員長を任されることになった。新しく委員になった五年生は、放送機器の使い方が分からなくて不安そうにしていたので、ぼくは、これまでの経験を生かして、いろいろなことを教えてあげたいと思った。

一 【文章の一部】の中には、いくつかの文があります。それぞれの文のはじめの五文字を丸で囲みましょう。なお、読点（、）も字数にふくみます。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

二 【文章の一部】の中の——部を、主語に注目して二つの内容に分けて書き直します。つなぎ言葉には、「だから」を使います。

(1) 一つ目の文の終わりの七文字と、二つ目の文の「だから」に続く七文字を書きましょう。なお、読点（、）も字数にふくみます。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

新しく委員になった五年生は、 （中略）

--	--	--	--	--	--	--	--

。だから、

--	--	--	--	--	--	--	--

 （中略） 教えてあげたいと思った。

(2)

——部を二つの内容に分けると、「だから」と同じような意味の別の言葉を使うとすると、どのような言葉がふさわしいですか。次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

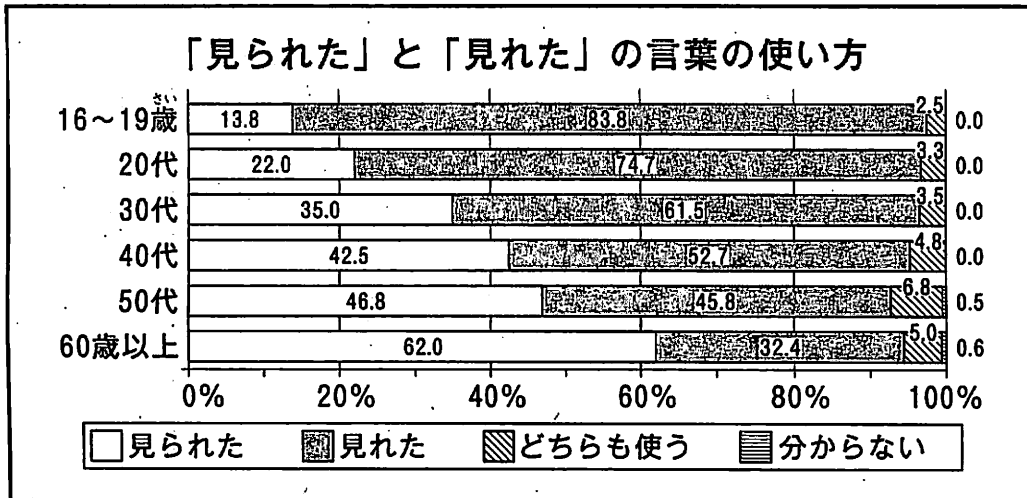
1 しかし

2 また

3 ところで

4 それで

【資料】



(文化庁「平成22年度国語に関する世論調査」による。)

【ノートの一部】

〈年代ごとのわり合から分かること〉

- 16さいから19さいまでのわり合では、「見れた」が「見られた」を大きく **ア**。
- 20代、30代でのわり合においても、16さいから19さいまでのわり合と同じようであることが分かる。
- 50代でのわり合は、「見られた」と「見れた」の差が1ポイントで、ほぼ同じである。
- 60さい以上でのわり合を比べると、「見られた」が「見れた」を **イ**。

〈全体から分かること〉

16さいから60さい以上までの「見られた」と「見れた」のわり合のちがいをまとめると、

ウ

～（内容が続く）～

高木さんは、言葉の使い方について考えるために、次の【資料】から分かったことをノートにまとめました。「ノートの一部」を読んで、あとの問いに答えましょう。

(問い)

「フートの一部」の

ア

イ

ウ

の中にはどのような内容が

入りますか。ふさわしい内容をそれぞれ書きましょう。ただし、**「見られた」と「見れた」の二つの言葉を用いて、四十字以上、五十字以内で書きましょう。**

(書き出しの言葉は、字数にはふくみません。)

・ア

--

・イ

--

・ウ

16さいから60さい以上までの「見られた」と「見れた」のわり合のちがいをまとめると、									
◆									
								40字	
								50字	

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

※数字は、20のように1ますに書きましょう。

【広告】

①

ホーム転落事故へ。

「ひとこゝろマナー」
はじめよう。

お困りですか?

そちらは危ないですよ

お手伝いしましょうか?

段差がありますよ

目か不自由な方の転落事故を防ぐために

○手事は声をかける。
○黄色いブロックに物を置かない、立ち止まらない。

国土交通省 **JAFRA** (社)日本民間鉄道協会

京東日本・新東海・東日本・東武・西武・京成・京浜東北線・小田原線・東武東上線・京東東北線・京東外环线・相模線・名鉄・近鉄・南海・京阪・阪急・阪神・東横線・北武・東横線・りんかい線・東京モノレール・横濱線・埼玉高速線・つくばエクスプレス・ゆりかもめ・北武東武線・東北高速線・山陽線・東武東上線、横浜市交通局、名古屋市交通局、名古屋市交通局、大阪市交通局、神戸市交通局

エレベーターの賢利利用にもご協力を

※【広告】の中の②には、ふりがなを付けてあります。

5

小島さんは、駅にはられていた、次の「広告」を見て、考えたことをノートにまとめました。

【小島さんのノートの一部】の

ア

イ

ものを、あとの1から3までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

の中に入る内容として最もふさわしい

【小島さんのノートの一部】

この広告には、駅のホームで目が不自由な方に出会ったときに、声をかけることをすすめようとするねらいがある。

そのために、まず、①の部分では、広告の作り手がよびかけの表現を用いて大きな文字で示している。そのことは、広告を見る人に強い印象をあたえている。

次に、②の部分では、①をもとに、実際にことにより、広告を見る人が行動につながるやすくなっている。

（内容が続く）

イ

を示している。その

ア

内容を、

- ア
- 1 広告を見る人に行動をうながそうとする
 - 2 目が不自由な方を勇気づけようとする
 - 3 疑問に思ったことを報告しようとする

- イ
- 1 声をかけるときの順序
 - 2 声をかけるときの注意点
 - 3 声をかけるときの具体例

大林さんの学級では、グループごとにお気に入りの俳句を選んで、しようかいし合うことになりました。大林さんのグループでは、次の【俳句】を選び、考えたことを話し合っています。

【大林さんのグループの話し合いの一部】の

ア

イ

言葉で、あとの1か2のいずれか一つ選んで、その番号をそれぞれ書きましょう。

【俳句】

(つ)
とつぷりと後ろ暮れりし焚火かな

松本たかし

【大林さんのグループの話し合いの一部】

大林 「焚火かな」というのは、「焚火だろうか」と疑問に思っているのかな。

池田 それはどうか。今までの俳句の中に出てきた「かな」というのは、感動を表すときに使われていたわ。この俳句の「かな」も、「焚火だなあ」と焚火の様子をしみじみ思うという意味と考えたほうがいいんじゃないかしら。

木村 なるほど。そうすると、「とつぷりと後ろ暮れりし」の部分が大切になってくるね。その部分を想像すると、日がすっかりしずんで周りが暗くなっている様子が目にかぶね。

小松 そうね。そのことが「とつぷりと」という言葉に表れているね。ここでは、焚火とその周りの景色とを、

ア

いるように思うわ。

大林 そう考えてみると、焚火の周りの景色によって、

イ

がいつそう

強調されて、その様子がはっきりと想像されるね。

（話し合いが続く）

イ
2 1
夜の暗やみ 焚火の明るさ

ア
2 1
対比して 分類して

次は、去年の選抜高等学校野球大会開会式での【選手宣誓の一部】^{※1}です。
 の表現は、話し手がどのようなふうをすることで、どのような効果を生み出そうとして
 いますか。その説明として最もふさわしいものを、あとの1から5までの中から二つ選んで、
 その番号を書きましょう。

(解答の順序は、問いません。)

【選手宣誓の一部】

宣誓。東日本大震災^{※1}から一年、日本は復興^{※2}の真^まっ最中^{さいちゆう}です。被災^{ひさい}をされた方々の中には、
 苦しくて心の整理^{せいり}がつかず、今も当時のことや、亡^なくなられた方を忘^{わす}れられず、悲しみに
 暮^くれている方がたくさんいます。

人はだれでも答えのない悲しみを受け入れることは、苦しくて
 つらいことです。しかし、日本が一つになり、その苦難^{くるなん}を乗り
 こえることができれば、その先に必ず大きな幸せが待っていると
 信じています。だからこそ、

日本中に届^{とど}けます。感動、勇氣、そして笑顔^{えがた}を。
 見せましょう。日本の底力^{※3}、絆^{きずな}を。

〜 (宣誓が続く) 〜



▲選手宣誓の様子

(第八十四回選抜高等学校野球大会開会式選手宣誓による。)

※1「宣誓」…多くの人の前でちかいを述べること。

※2「復興」…もとのように再び盛^{さか}んになること。

※3「絆」…人と人との強いつながり。

- 1 人や物、出来事^{できごと}を、ほかの何かにたとえることで、想像しやすくしようとしている。
- 2 伝えたい内容を短い言葉で区切って並^{なら}べることで、思いを明確にしようとしている。
- 3 同じ言葉を何度もくり返して使うことで、伝えたいことを強調しようとしている。
- 4 動きや音声を言葉で表すことで、その場の様子を分かりやすくしようとしている。
- 5 言葉の順番をくふうすることで、聞き手に伝えたいことを印象づけようとしている。

これで、国語Aの問題は終わりです。

